

## インフォメーション

### ○ 学校説明会

完全予約制。申し込みは本校HPからとなります。

第1回 8月21日(月) 相模原市民会館 ホール

第2回 10月28日(土) 本校(オープンスクール)

学校説明会/授業見学/部活動見学・体験など

第3回 12月9日(土) 本校

### ○ 学校見学

電話にてご相談ください。

### ○ 相翼祭(文化部門)

9月9日(土)、10日(日) 本校

※ 詳しくは本校HPにてお知らせいたします。



## アクセス

JR横浜線 相模原駅から 徒歩 約20分



相⑭系統 横山団地経由 上溝行き  
「横山団地」下車 すぐ

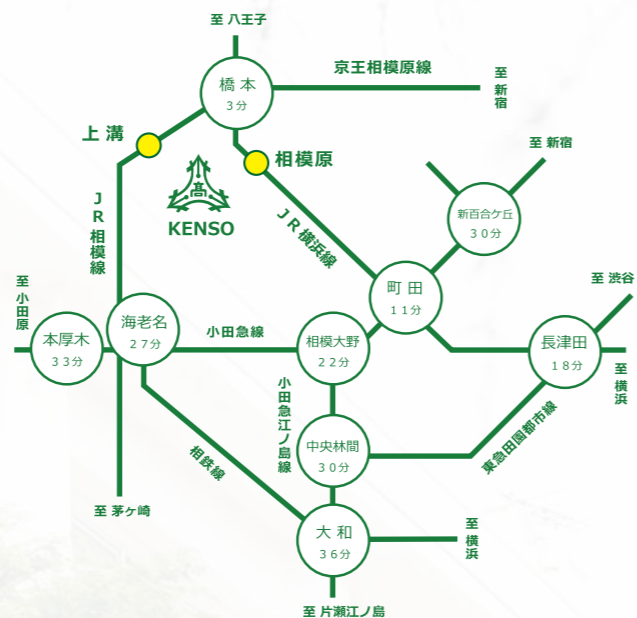
相⑫系統 市役所前経由 上溝行き  
「高校入口」下車 徒歩約4分

JR相模線 上溝駅から 徒歩 約15分



相⑭系統 横山団地経由 相模原駅南口行き  
「横山団地」下車 すぐ

相⑫系統 市役所前経由 相模原駅南口行き  
「高校入口」下車 徒歩約4分



神奈川県立  
相模原高等学校  
令和5年度 学校案内



スーパーサイエンスハイスクール指定校(文部科学省)  
学力向上進学重点校エントリー校(神奈川県教育委員会)



## 神奈川県立相模原高等学校

〒252-0242

相模原市中央区横山1-7-20

TEL 042-752-4133 <代表>

FAX 042-753-6348

公式ホームページ

<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/sagamihara-h/>



# 相模原高等学校 (KENSŌ)

文武両道



切磋琢磨

## 校訓

礼節 信義 根性

本校は昭和39年に地域の進学を担い、次世代のリーダーを育成する学校として開校しました。「県相 (KENSŌ)」の愛称で親しまれ、「礼節・信義・根性」を校訓に、「文武両道・切磋琢磨」をモットーに令和5年度で開校60周年を迎え、多くの卒業生がさまざまな分野で活躍しています。

## 県相について

質の高い文武両道 — 県相生は勉強・部活動・学校行事に全力に取り組んでいます —

- ・第1志望の進路実現に向けた取組 (国公立を目指したカリキュラム・授業)
- ・高い部活動加入率 (多彩な運動部・文化部と数多くの実績)
- ・生徒主体の学校行事の企画・運営 (体育祭、文化祭、合唱コンクールなど)

## 県相3つの柱

第1志望の進路実現を目指して (学力向上進学重点校エントリー校) 県教育委員会指定

- ・進学校として第一志望の進路実現に向けた授業・進路指導
- ・模擬試験を活用し、データによる自己分析と最新情報の活用
- ・模擬試験前の目標設定、試験後の外部講師による詳細な分析で弱点克服
- ・毎日の生活を記録する「学習記録表」で担任と一緒に時間の使い方の工夫

理数人材の育成を目指して SSH (スーパーサイエンスハイスクール) 文部科学省指定

- ・全ての生徒が社会で活躍できるように科学的探究力が身に付く課題探究の授業
- ・科学的探究力と国際性を備えた次世代のリーダーを育成する高大接続プログラム
- ・大学研究室、各種研究施設訪問などによる理数分野への高い興味・関心の醸成

国際理解教育 グローバル化の時代に向けて国際性豊かな生徒の育成

- ・SSHの取組としての国際性を備えたリーダーの育成
- ・学力向上進学重点校エントリー校の取組としてのPDA即興型ディベートや1、2年生でのGTEC受検
- ・留学生の受け入れ、海外短期留学などによる豊かな国際性の育成

# 県相の取組

— 第1志望の進路実現を目指したきめ細かい指導 —

## 大学での学びをイメージした進路指導

### 高大接続

大学での講義を受講し、進路への意識を高めます。



高大連携講座 (14大学 24講座)

### TA (Teaching Assistant) 支援制度

課題探究の授業で大学生、院生の指導を受けられます。



## 模擬試験を積極的に活用した進路指導

試験前後の丁寧な指導で自分の課題を発見し、効果的な対策を立てられるようにします。模擬試験後は外部講師による講演会を実施します。

## 「学習記録表」による生活時間の見直し

日々の生活時間のプランを担任と一緒に考え、効果的な学習ができるように丁寧に指導します。



1人1台のPCを使用した進路講演会

## 充実した学習環境

落ち着いた環境の自習室で自分のペースで勉強に取り組むことができます。職員室・図書室前の「攻め机」でいつでも先生に質問することができます。PC教室や3Dプリンター、人工気象器などの施設・設備が学びをサポートします。



自習室



攻め机



図書室



PC教室



3Dプリンター



低温恒温器・人工気象器

# 県相の取組

—SSH (スーパーサイエンスハイスクール)として—

## 課題探究

興味・関心があることを友達と一緒に探究していきます。大学での探究活動につながっていきます。特に県相 SSH では、東京都立大学の大学生・院生による TA 支援制度、青山学院大学・麻布大学研究室接続、国民生活センターの専門的な計測環境の利用など、外部の協力を得ながら探究活動を進めています。



## 探究が楽しくなる多彩な取組

希望者対象の泊を伴うサイエンスツアーや放課後に開催するサイエンスゼミナール、外部講師の講演サイエンスセミナーなど、興味・関心をより高める取組です。



※サイエンスツアー、大学研究室訪問、サイエンスゼミナールは年によって実施の有無、内容が変わります。

# 県相の取組

—国際理解教育 グローバル人材の育成を目指して—

本校の指定校事業であるSSH(文部科学省指定)、学力向上進学重点校エントリー校(県教育委員会指定)の取組を通して、これからの国際社会でリーダーとして活躍できる人材の育成を目指しています。

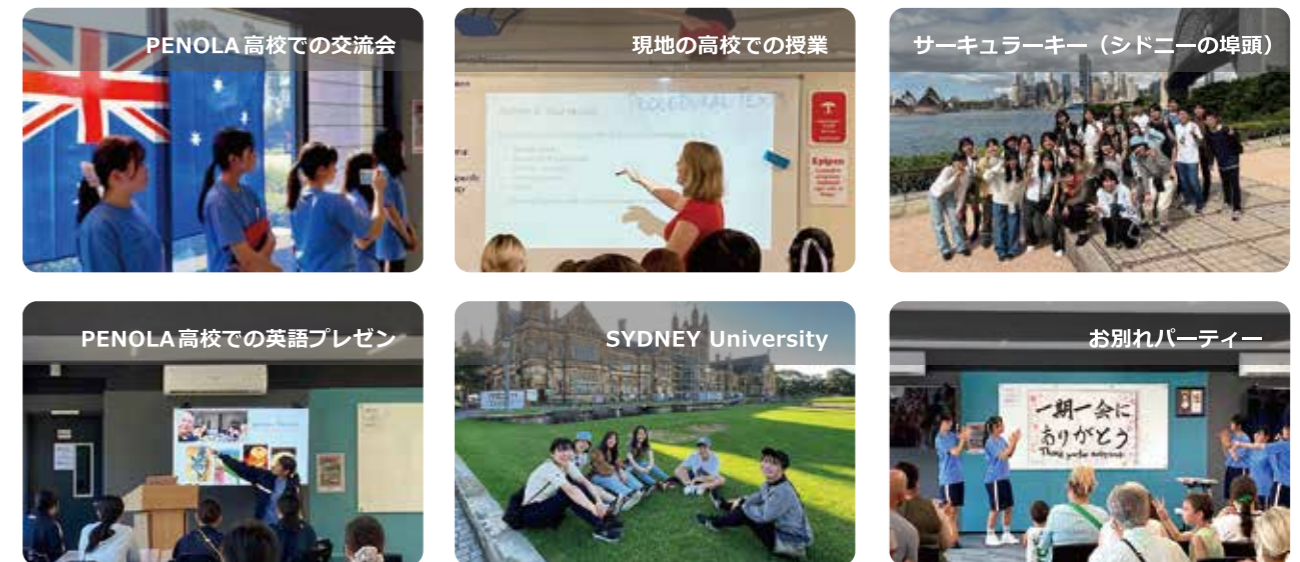
## 英語力向上の取組

1、2年生全員でGTEC(英語4技能検定)を受検します。また、英語での課題研究の発表で英語力を高めています。

## 海外短期留学

令和4年度実施: オーストラリア短期留学(12泊13日)

現地高校との交流により英語力を高めます。事前に校内でも研修を行い(令和4年度は19回)十分に準備をしてから現地に向かいます。生徒は1人ずつホストファミリー宅に宿泊します。



## 留学生や他校生との交流・大学訪問

留学生の受け入れや英語によるプレゼンテーション、ディベート等での交流を通して英語力の向上を目指します。



※留学生の受け入れ、大学訪問は年によって実施の有無、内容が変わります。

# 教育課程表

(令和6年度 新入生)

県相では、基礎学力のさらなる向上と、大学入学共通テストや難関国公立大学入試対策、及び生徒個々の進路実現へのさらなる充実を図っています。

また、令和元年度からSSHの指定を受けており、SSHの教育課程の特例として、情報Ⅰ(2単位)及び総合的な探究の時間(3単位)は、SS課題探究Ⅰ(3単位)及びSS課題探究Ⅱ(2単位)で代替しています。

○内の数字は単位数

	1 学年		2 学年		3 学年			
			文系	理系	文系	理系数Ⅲなし	理系数Ⅲあり	
1	現代の国語 ②		論理国語 ②		論理国語 ②			
2								
3	言語文化 ②		古典探究 ③		文学国語 ②	数学研究β ④	数学Ⅲ ⑤	
4								
5	歴史総合 ②		地理総合 ②		古典探究 ③	化学基礎 ②	数学Ⅲ ⑤	
6								
7	公共 ②		日本史探究 ③ または 世界史探究 ③	化学 ③	【歴史・数学必修選択】 次の(1)~(3)から1つ選択 (1)日本史探究 ③+発展日本史 ③ (2)世界史探究 ③+発展世界史 ③ (3)数学研究β ④+政治・経済 ②	生物基礎 ②	数学研究α ③	
8	数学Ⅰ ③							
9	数学Ⅰ ③				SS化学 ③			
10	数学Ⅰ ③		数学Ⅱ ④					
11	数学Ⅱ ④				SS物理 ④ または SS生物 ④			
12	数学Ⅱ ④		英語コミュニケーションⅢ ④					
13	物理基礎 ②		数学B ②		SS物理 ④ または SS生物 ④			
14	物理基礎 ②		数学C ①					
15	化学基礎 ②				SS物理 ④ または SS生物 ④			
16	化学基礎 ②							
17	生物基礎 ②		理科探究α ②	物理 ② または 生物 ②	論理・表現Ⅲ ②	英語コミュニケーションⅢ ④		
18	生物基礎 ②							
19	体育 ②		体育 ②		体育 ③			
20	保健 ①		保健 ①		LHR	論理・表現Ⅲ ②		
21	保健 ①							
22	音楽Ⅰ ② または 美術Ⅰ ②		英語コミュニケーションⅡ ④		【自由選択】 最大10単位 * 下表参照	LHR		
23	音楽Ⅰ ② または 美術Ⅰ ②							
24	英語コミュニケーションⅠ ③		論理・表現Ⅱ ②		【自由選択】 最大6単位 * 下表参照	LHR		
25	英語コミュニケーションⅠ ③		家庭基礎 ②					
26	SS課題探究Ⅰ ③		SS課題探究Ⅱ ②					
27	SS課題探究Ⅰ ③							
28	LHR		LHR					
29	LHR		LHR					
30	LHR		LHR					
31	LHR		LHR					
32	LHR		LHR					
33	LHR		LHR					

※教育課程は変更になる可能性があります

## 3年 自由選択

国：国語表現 ② 古典精読 ② (文系) 古典講読 ② (理系)

社：地理探究 ② 倫理 ② 政治・経済 ②

数：総合数学 ③ (文系)

理：物理基礎 ② (文系) 化学基礎 ② (文系) 生物基礎 ② (文系)

英：英語コミュニケーションⅠ ② 英語コミュニケーションⅡ ②

情：情報研究 ②

SS：SS課題探究Ⅲ ①

# 進路

県相生のほぼ100%が4年制の大学進学を目指し、高い進学実績を残しています。部活動や学校行事だけでなく勉強も頑張る県相生は、仲間とともに伸びる環境を伝統に、現役での第一志望合格を目指して、日々励んでいます。

## 4年制大学 主な合格状況 (過去3年間)

国公立大学・大学校										私立大学 (抜粋)				
大学名	令和4年度		令和3年度	令和2年度	大学名	令和4年度		令和3年度	令和2年度	大学名	令和4年度		令和3年度	令和2年度
	現役	合計				現役	合計				現役	合計		
北海道			1	3	名古屋			1		青山学院	70	73	51	65
北見工業				1	大阪			1	2	学習院	11	13	11	13
東北				1	三重				1	北里	14	15	14	14
筑波	1	1	2	3	新潟			1		慶應義塾	13	13	15	15
宇都宮	1	1			金沢			1		芝浦工業	6	6	25	13
茨城			1	2	徳島			2		順天堂	1	1	5	4
お茶の水女子				1	長崎				1	上智	6	7	9	6
東京	1	1			佐賀			1		中央	59	64	85	89
東京医科歯科				1	川崎市立看護	1	1			東京都市	39	39	28	53
東京海洋			2		高崎経済	1	1			東京理科	16	18	17	17
東京外国語	2	3	1	1	都留文科			2	1	日本	46	49	52	44
東京学芸	3	4	6	1	東京都立	29	29	14	22	法政	78	81	69	86
東京藝術			1		横浜市立			5	3	明治	75	79	89	80
東京農工	2	2	3	3	埼玉県立			1		明治学院	32	33	19	29
東京工業	1	1	2		名古屋市立			2		立教	20	24	20	30
電気通信			5	2	大阪公立			1		関西	1	1	2	1
一橋	1	1		1	高知県立			1		関西学院	1	1		
横浜国立	6	6	9	22	九州歯科		1			立命館	3	3		2
千葉	1	1	2	2	国立看護大学校			1		早稲田	23	26	36	32
山梨			3	2	県立保健福祉大学	1				その他	409	442	441	489
信州	1	1	1	2	合計 (未掲載校含む)	52	54	73	80	合計 (未掲載校含む)	923	988	988	1082

## 卒業生からのメッセージ (令和4年度卒業 第57期生)

進学先：東京大学 理科一類

私がこの大学を初めて意識したのは、私の高校入試の成績が一番だったと知った母親が、「県相が一番なら東大目指せるよ」と言った時です。当時はその言葉を真剣に受け止めておらず、東大なんて雲の上の大学だと思っていました。第一志望を東大にしたのは2年生の夏休み前だったと思います。動機は不純です。予備校に入るにあたって、第一志望が東大だと言えば授業料を安くしてくれるのではないかと思ったからです。安くなりませんでした。そんな私を本気にしてくれたのは、部活の顧問の先生の「君なら東大いけるんじゃない？」という言葉でした。私が全幅の信頼を寄せていた先生でしたから、その言葉は大きく響いて、その日から本格的に東大合格のための勉強を始めました。もちろん志望理由は他にもあります。私は将来の夢がまだ決まっていなかったため、幅広い学問を高水準で学習できる大学は、職種の選択肢が増えるという意味で自分にとって最適の大学でした。

私は正直1年生の頃は最低限の勉強しかしていませんでした。

予備校に入った理由は、このままではダメだと思い、勉強せざるを得ない環境に身を置こうと決めたからです。予備校に入ってから気づいた、勉強する上で一番大切なことがあります。それは「予習→学校で授業」の流れです。その効果は私の場合物理の電磁気分野で顕著に現れました。予備校の授業は映像形式で、友達や先生に質問できない状況で一から電磁気などを勉強するのは大変でしたし、浅い理解のまま学習を進めていくのは不安でした。しかし、学校の授業が電磁気に入り始めた3年生の中盤、今までの努力が一気に報われました。授業の話と予備校で学んだこととが絡み合って、学習内容が頭に入る。この頃から物理が得意科目になりましたし、他教科でも同じ現象が起きて、東大模試の判定がEからCに上がるなど急激な成長を果たしました。皆さんもひたむきに努力していけばいずれこの瞬間が訪れるでしょう。むしろ、この瞬間が訪れるまで努力すべきです。

# 学校行事

県相の行事は生徒主体。生徒会や相翼祭の実行委員会であるSSCを中心に企画・運営され、先生と協働して行われます。これは先輩達から受け継いだ県相の大切な伝統のひとつです。

※SSC: Souyokusai Steering Committee

	行事	学習	進路・キャリア
4	始業式 入学式 県相スタートキャンプ (KSC) (1年) 新入生歓迎球技大会 防災訓練		面談期間
5	生徒会役員選挙 第1回生徒総会	前期中間テスト 校内模擬試験 (3年)	進路集会 (全学年)
6	相翼祭 (体育部門)		教育課程説明会 (1・2年) 大学生からの講話
7		前期期末テスト 夏期講習・補習 校内模擬試験 (全学年)	総合型選抜・学校推薦型 選抜合格者説明会 (3年) インターンシップ
8	第1回学校説明会 (相模原市民会館)	夏期講習・補習 SSH全国大会 GTEC (1・2年) 校内模擬試験 (3年)	三者面談 インターンシップ
9	シェイクアウト訓練 相翼祭 (文化部門)	SSHアメリカ研修	大学入学共通テスト説明会(3年)
10	後期始業式 第2回学校説明会 (オープンスクール) 地域貢献活動	校内模擬試験 (3年) 修学旅行 (2年)	社会の先輩に聞く (1年)
11	第2回生徒総会 防災避難訓練 地域貢献活動 60周年記念式典 (相模原市民会館)	校内模擬試験 (全学年) 後期中間テスト・卒業テスト	
12	合唱コンクール (1年) 第3回学校説明会	冬期講習・補習	二者面談 (3年) 進路講演会 (全学年)
1	全校集会	校内模擬試験 (1・2年)	大学入学共通テスト自己採点(3年)
2		課題研究発表会 (1・2年)	
3	卒業式 修了式	学年末テスト 健康教育集会 オーストラリア短期留学	



県相スタートキャンプ

「県相生としての出発点」及び「人間力を育む原点」の構築のため、1泊2日の自然の中での集団活動を通して、コミュニケーション力や課題解決能力などを養います。



県相セカンドキャンプ

班ごとに計画して東京の大学や科学的施設を巡ることで、計画力や課題解決力等を養い、文化等の見聞を広げます。実施後は学習効果をクラスでまとめ、学校全体で共有します。



県相シニアキャンプ

早稲田大学・慶応義塾大学を訪問して進路実現の意識を高めます。また化学・自然・経済等から希望するテーマを選び、関連する施設での体験を通して自己研鑽を積みみます。



新入生歓迎球技大会

男女それぞれ8ブロックに分かれ、総当たりで行われる球技大会は先生チームの“Teachers”も本気で戦います。



相翼祭 (体育部門)

県相では体育祭と文化祭を総称して「相翼祭(そうよくさい)」と呼んでいます。この相翼祭は、生徒有志による組織SSCが教員と協働して企画・運営を行っています。



相翼祭 (文化部門)

イベント・アトラクション(1・2年)、模擬店(3年)、展示、ステージでの演奏や劇の発表など多彩なプログラムの準備は新年度早々に始まります。準備・開催を協力して行う中で、仲間との強い絆が生まれます。



県相の攻め机

職員室前に机を設置。納得がいくまで先生に質問することができます。また、快適な自習室を設置するなど、「わからないことをそのままにしない」ための学習環境を整えています。



地域貢献活動

清掃活動や福祉活動に積極的に取組み、保育園のプールの設置や地域のお祭りへの協力、コンサートへの出演など、生徒が中心となって地域の中へ飛び込み、学びを深めています。



合唱コンクール (1年生)

12月にクラス対抗で行われる合唱コンクール。もちろん生徒主体で運営が進められ、どのクラスもそれぞれの持ち味を生かし、合唱の枠をこえ、独唱あり、ダンスあり、多彩な演奏を披露します。

# 部活動



令和5年度  
マンドリン全国大会出場



## 活動紹介・メッセージ

英語ディベート部	即興型英語ディベートで英語コミュニケーション能力を高めています。2019・2021PDA神奈川県大会で優勝、2018～昨年2022まで全国大会に出場しています。今年度も神奈川県優勝を目指しています。
科学研究部	昨年度も全員が各種科学コンテストに参加しました。引き続き横山公民館で「科学実験ショー」を行い、地域小学生に科学の楽しさを伝えることができました。フィールドワークや博物館など、校外学習も実施しています。
クイズ研究部	クイズを解きあったり、自作したりと日々みんなでクイズ力を高めています。楽しく和気あいあいと活動しています。皆さんの入部お待ちしております。
軽音楽部	全国大会出場を目指し、日々熱心に練習に励んでいます。学校行事はもちろん、高文連・それ以外の大会でも活躍している部員がたくさんいます。
茶道部	茶道部は週三日間活動しており、金曜は裏千家茶道の先生からお点前などの指導を受けています。お茶碗作りをしたり、年に数回は外部のお茶会に参加したりと和やかな中にも緊張感を持って稽古に励んでいます。
書道部	学校行事でパフォーマンスを披露し、外部でも活動しています。やりたいことを実現させ、ひとつひとつにこだわって作品を仕上げています。初心者が大半ですが、成長を感じられる部活で、先輩・後輩関係なく楽しい活動をしています。
吹奏楽部	1年生31名、2年生29名、3年生26名の計86名で活動しています。定期演奏会やコンクールをはじめ年間多くの演奏機会があり、それらの活動を通して人間的に大きく成長し、充実感が得られる部活動です。
美術創作部	2か月に1冊程度のペースで、イラストや詩・小説等を掲載した部誌を発行しています。文化祭では様々な手法を用いて独自の世界観を表現します。部員は、美術・文芸両分野の自由な創作活動を通じて個性を発揮しています。
マンドリン部	県内の公立高校の中で、マンドリン部があるのは県単だけです。日曜日以外の毎日、発表に向けて熱心に活動しています。今年は全国大会にも出場し、実績のある部です。先輩と後輩の仲が良いのも魅力の一つです。
合唱同好会	文化祭やNコンでの発表の場を目指して活動しています。部員が持ち寄った合唱曲やJ-POPなどを一人一人の響きを大切にしながら歌っています。歌うのが好きな方、ぜひ一緒に歌いましょう!
KITS	KITSとは、県情報技術スタッフの略です。活動曜日は金曜日で、主な活動は生徒による学校ホームページの作成と、学校紹介ビデオ作成に取り組んでいます。楽しく活動しています。
応援団部	私たち応援団部は、火曜から土曜の週5日活動しています。毎年野球応援や文化祭などに参加し、部内の雰囲気は和気藹々としています。皆で団結し、良い応援ができるよう日々精進しています。
空手道部	初心者から経験者まで男女合同で活動しています。メリハリのある練習を意識し、互いに良きライバルとして日々稽古に励み、関東大会出場を目指しています。

## 活動紹介・メッセージ

弓道部	「射者仁道」を念頭に日々練習しています。部員のほとんどが初心者で、月・火・木曜は巻き藁練習、水・金曜は市立体育館で射技の向上に励んでいます。
剣道部	「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である」技術面・精神面ともに向上を目指し、県相と一緒に稽古をしましょう!初心者も大歓迎です。
サッカー部	県選手権2次予選進出を目指し、文武両道を大切に日々集中した練習を心掛け活動しています。「責任ある行動がとれる人間に、責任あるプレーができる選手に」をテーマに、サッカーを通して、一緒に成長していきましょう。
水泳部	室内プールも利用できる恵まれた練習環境の中、初心者からインターハイ選手まで、仲間とともに切磋琢磨し、チーム力を高め、各自が自己の目標達成に向けて頑張ることのできる部活です。
ソフトテニス部	日曜日と木曜日を除く毎日活動しています。県大会へ3ペア以上出場できるよう日々練習に励んでいます。校訓にある礼節をとても重んじています。
卓球部	部員数42名の活気ある部です。文武両道を心掛け、チーム全体で切磋琢磨し、県高校総体等の大会で上位進出を目指して熱心に練習しています。
テニス部	硬式テニス経験者はもちろん、ソフトテニス経験者、テニス未経験者も大歓迎です。県大会本選出場を目指して、頑張りましょう。
バスケットボール部	関東大会・インターハイ・ウインターカップ出場を目標にして、先輩・後輩仲良く全員で練習をしています。華麗なオフェンス・粘り強いディフェンスを目指して、体育館練習・筋力トレーニングを科学的に行っています。
バドミントン部	県大会出場を目指して活動しています。男女や学年を超えて互いに切磋琢磨し、かつ和気藹々と練習に取り組んでいます。初心者も成長して活躍できる部活です。
バレーボール部	男女ともに県大会出場、更には県上位を目指して日々熱心に、かつ和気藹々と活動しています。たとえバレーボールの経験はなくても、一所懸命に練習すれば十分に活躍できます。
ハンドボール部	部員の多くが初心者ですが、男女ともに県大会ベスト8を目指して、日々全力で練習に取り組んでいます。新しいスポーツに挑戦したい方、ぜひハンドボール部に入部してください。
野球部	過去10年間で夏の甲子園予選第3位が1回、ベスト8が2回、春の準優勝(関東大会出場)、秋第3位と県立No.1の成績を残してきました。保護者と東になり甲子園出場を本気で狙っています。
陸上競技部	個々の部員が明確な目標設定をして、自己実現を果たそうと日々活動しています。「個々の向上は、チームの向上に繋がる」インターハイ優勝など先輩の実績を超えることを目指しています。